

建交労 ひかい

2021年10月号

発行：建交労 No.211

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす



2021年 9月16日 第2陣名古屋高裁前

9・16 神岡鉱山じん肺第2陣訴訟

名古屋高裁 勝訴！！

9月16日、三井金属神岡鉱山じん肺訴訟 第2陣訴訟の名古屋高等裁判所での判決が言い渡されました。先行した第1陣訴訟同様に、被告企業のじん肺加害責任を厳しく断罪し、原告の損害賠償請求をほぼ認める勝訴判決でした。

提訴から7年、わたしたちの闘いが大きな成果を勝ち取りました。

今回、残念なことにコロナ禍で出廷ができなかった原告に代わって判決を見守った2陣原告代表 小北行雄さんの妻 美保子さんは「裁判所はじん肺被害にしっかりと向き合ってくれた。やつと亡くなった仲間に報告できる。」と喜びを伝えました。

これからも全面解決に向けて奮闘します。

神岡鉦山じん肺2陣訴訟

1陣原告とともに掴んだ勝利!

2陣訴訟は2014年7月4日に岐阜地裁に提訴、7年の不屈の闘いを繰り広げて名古屋高裁で勝利しました。

先行した1陣訴訟の到達



名古屋高裁 入廷

じん肺被害の鑑別は、CT検査でおこなうのが正しいのか否かが徹底して争われたのが、神岡じん肺裁判です。

じん肺の判断方法について、国はじん肺法で厳格に定めており、じん肺管理区分決定を行っています。まず産業医や主治医が、胸部レントゲン写真や肺機能検

点を継承した2陣訴訟。1陣での残された課題をやりきろうと文字通り1陣2陣一体となってこの裁判を闘いました。

CT おおきな争点となった



被告を断罪し勝訴の旗だし

は、胸部レントゲン写真で管理区分を決定することが明記され、CTは参考にするぎないとされています。何故ならCTの標準写真もなく、医学的合意がなされていないとはいえないからです。

CTによる管理区分否定に歯止め

1陣訴訟から被告は、CTを根拠に原告の管理区分決定を否定してきました。

「CTに陰影がないのでじん肺ではない」というものです。1陣訴訟では、CTで一部原告の管理区分決定を否定し、2陣訴訟の岐阜地裁判決でもそれを踏襲しました。

CTでじん肺被害の鑑別をおこなうことの問題点は複数ありますが、最も大きな問題は、1mm程度の微細

査等からじん肺の診断をし、それを基に労働局で複数名のじん肺専門医がじん肺標準写真と比較して管理区分を決定します。そのため、裁判所は『じん肺管理区分決定には高度の信用性がある』と認定しています。

ところで、じん肺法でCT検査はどのような位置づけでしょうか。じん肺法で

なじん肺結節を捉えないこととです。CTは重なり画像をつくらないのが最大の利点であり、肺がんの早期発見に有利です。肺がんの早期発見のために1mm程度の微細な病変を捉える必要はありません。むしろ1mm程度の陰影もすべて写しだすと血管影等様々な陰影が写り、肺がんの早期発見をしにくくすることになります。

じん肺には、吸入粉じんによっていろいろな種類があります。神岡鉱山のように遊離ケイ酸濃度の低い粉じんを吸入すると、微細で線維化の弱い病変を肺にびつしり作りまします。そのようなじん肺病変はCTに写らないことが多々あります。CT画像に陰影がないからじん肺ではない、被害はない

という被告の主張はじん肺被害の切り捨てにつながります。

今回の判決で、名古屋高裁は、じん肺管理区分の高度の信用性を正しく捉え、CTや木村医師の反論だけでは、管理区分を覆すことができないと判断しました。この判断は、CTでのじん肺管理区分決定の否定に歯止めをさすものであり、勝



記者会見で発言する原告・家族の皆さん



記者会見で発言する原告・家族の皆さん

ち取った重要な核となるものです。

**いたずらな解決の引き延ばしは断じて許され
ない!**

1陣提訴から12年以上が経過し、1陣、2陣40名の原告のうちすでに18名もの原告が死亡しました。被告は、十分な粉じん対策を怠り劣悪な環境で働かせ



記者会見で発言する原告・家族の皆さん

たことを、司法の場で複数回も断罪され、もはや言い逃れはできません。いたずらに解決を引き延ばすことは、被告企業のせいでは、肺という死の病に罹患した被災者を踏みこむ行為です。

私たちは、一刻も早い全面解決のために全力で闘いを継続します。

2021年9月の活動報告

経過

- 9/3 第5回執行委員会 @郡上市文化センター
 9/5 県労連定期大会 @リモート参加
 9/7 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @リモート参加
 9/9 アスベスト電話相談学習会 @リモート参加
 9/16 神岡じん肺訴訟 名古屋高裁判決 @名古屋高等裁判所
 9/17 神岡じん肺訴訟 岐阜県要請 @岐阜県庁
 9/19 判決報告集会 @長附会館
 9/21 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @リモート参加
 9/22 神岡じん肺訴訟 三井金属鉱業要請 @大崎
 9/25 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 @郡上市文化センター

2021年10月の予定

- 10/1 神岡じん肺訴訟 第3陣提訴
 10/4~6 『第32回なくせじん肺全国キャラバン』 電話相談会
 10/7 執行委員会 @郡上文化センター
 10/9 判決報告集会 @古川町中央公民館
 10/12 『第32回なくせじん肺全国キャラバン』 @岐阜労働局・岐阜県
 10/13 // @経産省
 10/17 建交労岐阜県本部定期大会 @県教育会館
 10/28~29 『第32回なくせじん肺全国キャラバン』 東京集結行動
 10/29 振動障害労災不支給決定
 取り消しを求める行政訴訟判決 @岐阜地裁判決
 10/30 神岡じん肺被害 電話相談会 @岐阜教育会館

編集後記

ウマ娘というゲームが今年2月に配信され、早半年が過ぎました。そして先日、ようやく笠松競馬場デビューのオグリキャップを自分のチームに迎え入れるという悲願を達成しました。

アニメ、ゲームとメディア展開していったウマ娘は実際の競馬でも多大に影響を与えました。記事やスポーツ新聞で、「ウマ娘だろうね。ファン層が変わった」という騎手、厩務員の声を目にするようになりました。

実際に自分も始めはいわゆる「2次元」から入り、今は「3次元」で楽しんでいきます。そうやって今までにない入口から興味を持った人たちが想像以上に多いようです。

自分もネットで個人の当時の記事やレースの動画を見て、改めてかつての馬たちのファンになりました。いつかキングヘイローやトウカイテイオーなど、不屈の闘いをした馬たちを紹介できればなと思っています。